



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成27年6月号

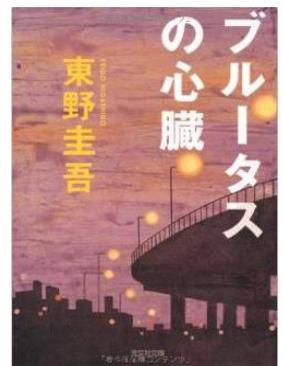
今月のオススメ



《ブルータスの心臓》 著者：東野 圭吾

人工知能ロボットの開発をしている末永拓也は、会社の社長の娘・星子の婿候補となるが、拓也には恋人の康子がいる。そんな矢先、星子の腹違いの兄・直樹から康子の殺人計画を聞かされ……。直樹・拓也・同僚の橋本の3人による完全犯罪殺人リレーが始まった。

幼少期から人間の暗い心の内を見てきた主人公の拓也は、“ロボットは人間よりも優秀で裏切らない”と生きてきました。タイトルにあるように、ブルータス = 裏切りの物語です。殺人計画書にあるもう1人の“D”とは誰なのか？ 読み進めていくなかで姿はちらついています。最後まで誰なのか私にはわかりませんでした。とても引き込まれる内容なので、是非読んでいただけたらと思います。(KM)



《青鬼》 著者：黒田 研二 挿画：鈴羅木 かりん 原作：noprops

6人の男女が、青い怪物が出るという洋館「ジェイルハウス」に迷い込んだ。洋館の仕掛けを解き、脱出を試みるなかで、1人また1人と恐怖におびえ死んでいく。彼らは脱出できるのだろうか？ 青い怪物の正体とは？ 逃げて、逃げて、逃げまくれ！

元々は、ホラーフリーゲームのお話だったのですが、ゲームにはなかったキャラも登場して、更に話が濃く、面白くなっています。

読み進めていくと、「えっ！」と驚き、ページを戻してしまうシーンもあり、不思議な気持ちになれます。(KN)

映画化された『青鬼』の続編として、『青鬼 ver.2.0』が7月4日から全国ロードショー。その前に是非、読んでみませんか。



新刊案内☺

《億男》 著者：川村 元気 2015年度 本屋大賞/ミネート！

突如、億万長者となった図書館司書の、お金をめぐる30日間の大冒険！
あなたは、宝くじが当たって一夜にして億万長者になったらどうしますか？
人間にとってお金とは何か？ 幸せとは何か？ 気軽に読んで面白い本です。

余談

川村元気さんは、映画プロデューサーとしても活躍されています。その作品は話題作ばかりです。『電車男』『告白』『悪人』『モテキ』『おおかみこどもの雨と雪』『寄生獣』など。2011年には優れた映画製作者に贈られる「藤本賞」を史上最年少で受賞しています。



先生のオススメ

瀬谷 貢一 先生

《遠野物語》 著者：柳田 國男

柳田國男が明治43（1910）年に発表した、日本民俗学の黎明を告げた名著。岩手県遠野地方に伝わり、遠野出身の佐々木喜善によって語られた民話をまとめた作品である。河童やザシキワラシ・天狗・オシラサマ・幽霊などの妖怪たちが語られている。

そこであらためて読み返したが、つい100年ちょっと前の人々が妖怪たちを身近に感じながら生活していたことがよくわかり、現代の生活を考え直す一助になるかもしれない。

我が家の子供も、夢中で妖怪ウォッチを観ているが、実は歴史上何度も妖怪ブームが繰り返され、それが今また一代ブームになっている。我々の祖先たちが多くの妖怪を生み出してきたとの想像力には驚くしかない。



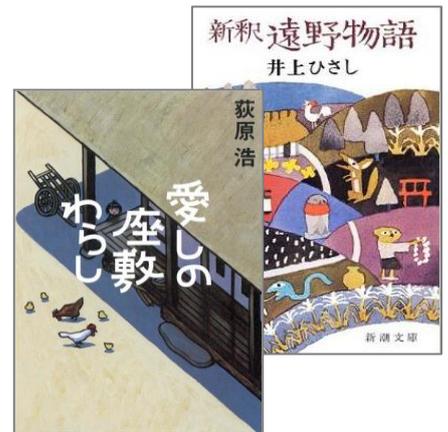
☆生徒へひと言☆

夜になると夏、暗闇で、テレビもパソコンもスマホ・携帯もない時代に、岩手遠野地方で、自然や信仰、妖怪たちと暮らしていた人々の素敵な生活を味わってください。

◆図書だより編集部より◆

『遠野物語』は、多くの出版社から様々なかたちで出版されています。『日本の昔話』、『日本の伝説』、『水木しげるの遠野物語』、井上ひさし『新釈 遠野物語』等。

“座敷わらし”を題材にした小説もあります。荻原浩『愛しの座敷わらし』は、2008年に第139回直木三十五賞候補にもなった作品です。東京から田舎に引っ越した一家が、座敷わらしとの出会いを機に家族の絆を取り戻していく、ささやかな希望と再生の物語。2012年には「HOME 愛しの座敷わらし」として映画化もされています。



妖怪ウォッチもいいけど、日本の昔話や伝説も読んでみませんか？



図書館でのマナーについて

みなさんは、図書館でのマナーを守っていますか？ いわき市立図書館（ラトブ4階・5階）から、高校生のマナーが悪いと苦情が来ているそうです。いわき総合生は大丈夫ですね。市立図書館に限らず、公共施設や学校図書館も同じです。誰もが利用する施設ですので、マナーを守ってお互い気持ちよく利用しましょう♪